

はじめに

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。

新型コロナウイルス感染防止のため、教職課程説明会を中止し、資料配信により説明を行うことにいたしました。将来、教員になりたいと思っておられる方は熟読してください。

教員を目指すにあたって

教員免許を取得すれば教員になれるわけではなく、学校の教員になるためには免許を取得した上で教員採用試験に合格しなければなりません。教員の需要は高まっているとはいえ、採用試験に合格することは容易ではありません。特に中学校や高校の採用試験はいまだ高い倍率です。

教員を目指す人は卒業単位を修得しながら教職課程の単位も修得し、かつ、教員採用試験対策に取り組まなければ教員への道は開けません。とりあえず教員免許を取得しておこうと考えている人も、その授業に割かれる時間や4年次の教育実習を考えると一般企業や公務員試験等の就職活動との両立は困難です。その点を十分考慮した上で教職課程の受講を決めてください。

(1) 教職課程とは？

- ・学校の教員になるためには教育職員免許状(教員免許)が必要。大学卒業(基礎資格)はもちろんのこと、教職課程を履修し、所定の単位を取得することが必要。
- ・本学の教職課程の履修で取得できるのは、中学校一種・高等学校一種、養護教諭一種。
- ・教職課程を履修するには、学費とは別に受講料(一括納入 36,000 円)が必要。
- ・教員免許状を取得できたからといって、すぐに教員になれるわけではない。教員になるためには、都道府県や政令指定都市が実施する教員採用試験に合格することが条件。
- ・教員免許更新制—教員免許状の有効期間は 10 年。10 年毎に更新講習を受講し、試験に合格しなければ免許は失効する。

(2) 教職の意義

- ・「人を育てる」「児童生徒の成長に立ち会える」仕事＝難しい＝やりがい
 ※工夫のしがいがある、難しいからこそ達成感がある。
 ※教職課程は成績評価やマナーに厳しく、4年次の就職活動と教員採用試験の勉強の両立は困難。
 やる気があり、努力する自信がある人だけが履修すること。

(3) 最新の教員採用数・倍率

(採用数は都道府県によって異なるが、「資質の高い教員を採用したい」のは共通の基準)

福岡県・中学校

		国語	社会	数学	理科	保体	英語
2020 年度	採用予定数	33	35	34	28	31	28
	受験者数	100	168	168	122	208	103
	1次合格者数	67	66	66	52	58	58
	最終合格者数	40	50	50	36	36	36
	競争率	2.5	4.5	3.4	3.4	5.1	62.9

福岡県・高校

		国語	地歴	公民	数学	物理	化学	生物
2020 年度	採用予定数	24	21	4	27	6	4	5
	受験者数	125	160	42	221	49	79	53
	1次合格者数	63	74	11	65	17	29	17
	最終合格者数	22	20	3	31	5	6	8
	競争率	5.7	7.6	14	7.1	9.8	13.2	6.6

福岡県・高校

		保体	英語	商業	工業	情報	看護	養護
2020年度	採用予定数	19	27	4	8	3	-	30
	受験者数	240	103	40	64	30	-	251
	1次合格者数	51	61	18	20	12	-	53
	最終合格者数	21	27	5	8	4	-	32
	競争率	11.4	3.8	8.0	8.0	7.5	-	7.8

福岡県・小学校

2020年度	採用予定数	710
	受験者数	951
	1次合格者数	807
	最終合格者数	661
	競争率	1.4

※自治体によっては、競争率が10数倍のところも。

過去の自治体別の競争率は、各自治体の教育委員会のHPで見ることができます。

- ・いじめ・不登校・学力低下、保護者対応等の教育問題にどう向き合うか
→ 教員の資質向上への注目もあり、教員の養成、採用は依然として高いハードル。
- ・採用者に占める新規卒業者の割合は2～3割程度
(あとは常勤講師・非常勤講師等の経験者が多い。正教員になるまで採用試験を受験し続けているのが実態。)

(4) 福岡大学の教職課程の状況

- ・福岡大学での教員免許状取得者は毎年約300～350人(全在学生の1割弱)。
※履修の過程で思うように単位を取得することができず、挫折しやめていく人もいるため、1年次登録者の半分ほどに減少し、平均70点以上の者がほとんど。
また、授業時間割上、再履修が困難なこともある。
- ・福岡大学卒業者の教員就職者(常勤講師・非常勤講師を含む。現役・既卒の合計)
※年度によって異なるが小学校を含め正規教員採用30～40名程度。
※卒業後に常勤講師・非常勤講師の職に就く者(私立学校を含む)が70名程度。
約3人に1人が教壇に立っている。
- ・支援体制ー教職課程教育センター事務室(8号館2階)
A棟8階 教職資料室(A802)・教職演習室(A809)
教員採用試験対策講座(エクステンションセンター)

(5) 小学校教諭免許状取得支援プログラムー聖徳大学(千葉県)の通信教育を活用

- 『教職課程履修の手引』のP.31を参照。
- ・1年次の11月頃に説明会を実施し、その後、選考が行われる。説明会への参加が必須。
 - ・2年次から開始(20名程度)。
 - ・1年次後期に成績と面接等で選考。聖徳大学(千葉県)への学費・スクーリング料・旅費が別途必要。
 - ・中学校教諭免許を取得することが前提なので、本プログラムに参加できるのは中学校教諭一種免許の課程を有する学部・学科の学生に限る。
 - ・小学校教諭採用試験を必ず受験すること。
 - ・1年次のすべての履修科目のGPAが2.0以上(平均70点以上)であり、所定の単位を修得済みであること。

(6) 福岡大学で取得できる教員免許状

『教職課程履修の手引』のP.14・15を参照。

(7) 教職課程のスケジュール

『教職課程履修の手引』の P. 7 を参照。詳細な日時等は FU ポータルの「お知らせ」や掲示板で確認してください。介護等体験に関する行事は、中学校教諭免許取得希望者が対象です。

(8) 教員免許を取得するために必要な科目と単位

『教職課程履修の手引』の P. 16～23、P. 32 以降参照。

教員免許状を取得するためには、次表の科目を履修しなければなりません。

また、中学校教諭の免許状を取得するには、次表の科目のほかに**介護等体験**の実施が必要です。

教員免許法施行規則に定められた科目		福岡大学での科目の種類	履修の手引き
①	第 66 条の 6 に定められた科目	各学部学科に設置された科目 (共通教育科目・専門教育科目・ 関連教育科目など)	P. 18～19
②	教育の基礎的理解に関する科目	教職課程科目 (教職課程のために特に設けられた科目)	P. 20 (養護：P. 21)
	道徳、総合的な学習の時間等の 指導法及び生徒指導、教育相談等に 関する科目 (道徳、総合的な学習の時間等の 内容及び生徒指導、教育相談等 に関する科目)		
	教育実践に関する科目等		
③	大学が独自に設定する科目		P. 22 ページ (養護：P. 23)
④	教科及び教科の指導法に関する科目・ 養護に関する科目	各学部学科に設置された科目 (共通教育科目・専門教育科目・ 関連教育科目 など) + 教職課程科目	P. 32～105 (養護：P. 103)

※学部学科によっては、②や③に専門教育科目や関連教育科目が一部含まれています。

各学部・学科のカリキュラムには含まれていない「教職課程科目」は、卒業要件単位には算入されず、1年間に登録できる制限単位数に含まれません。また、昼間開講と第二部(夜間)開講科目があり、どちらでも受講することができます。

『教職課程履修の手引』を参考に、配当年次に従って計画的に履修してください。

【1年次で履修登録できる科目】※なるべく1年次に履修してください。

① 第 66 条の 6 に定められた科目

(1) 日本国憲法

法学部・・・「憲法Ⅰ」「憲法Ⅱ」(専門教育科目)

その他の学部・・・「日本国憲法」(共通教育科目)

(2) 体育

商学部第二部・・・「生涯スポーツ演習Ⅰ」「生涯スポーツ論」(共通教育科目)

その他の学部・・・「生涯スポーツ演習Ⅰ」「生涯スポーツ演習Ⅱ」(共通教育科目)

(3) 外国語コミュニケーション

全学部・・・「フレッシュマン・イングリッシュⅠ」「フレッシュマン・イングリッシュⅡ」
(共通教育科目)

(4) 情報機器の操作

学部・学科ごとに指定された科目を履修してください(『教職課程履修の手引』P. 19 参照)。

ただし、2年次以降に開講される科目もあります。各学部の学修ガイドで履修年次を確認してください。

② 教育の基礎的理解に関する科目等

「教職概論」(教職課程科目)

「教育心理学」(教職課程科目)

「教育の原理・課程論」(共通教育科目)

③ 大学が独自に設定する科目

看護学科・・・「人間関係論」(専門基礎科目)

その他の学部・・・なし(2年次から履修可能です)

④ 教科及び教科の指導法に関する科目・養護に関する科目

学部・学科および免許状ごとに指定された科目を履修してください。ただし、2年次以降に開講される科目もあります。各学部の学修ガイドで履修年次を確認してください。

(9) 授業時間割の組み方

■教職課程科目は共通教育科目や学部・学科の科目とは授業時間割表が別になっています。教職課程を履修する人は学部・学科の授業時間割と『教職課程科目授業時間割』の両方の時間割を参考に時間割を組んでください。

■教職課程科目の必修科目は複数クラス開講している科目もありますので、自分が履修しやすい時間を選んで登録してください。また教職課程の授業は夜間もあり、夜間授業の受講も可能です。夜間授業を受講した場合、定期試験も夜間にありますので、昼間の授業では試験時間割が他の科目と重なるという場合は夜間授業を受講すれば問題解決です。

■時間割の立て方のポイントは、卒業に必修の科目、教職に必修の科目、卒業の選択科目、教職の選択科目という優先順位で授業を選ぶと時間割が立てやすくなります。

■試験時間割で試験時間の重複がないことを確認してください。

(10) 教職課程科目について

教職課程科目は各学部・学科の科目とは別に設置される科目です。次の点に注意してください。

★卒業要件単位数には算入されません(学部によっては、専門教育科目や関連教育科目が一部含まれます)。

★学部・学科で定められた登録上限単位数に含まれません。

★昼夜のどちらの授業も登録できます。※夜間の授業は定期試験も夜間に実施されます。

★受講料(36,000円)の一括納入が必要です。「教職概論」の履修年度に納入してください。

※受講料を納めるのは1回のみで、卒業するまで教職課程を履修することができますが、教職課程を途中でやめても受講料の返金はありません。

※定められた納入期間内に受講料を納めなかった場合は、「教職概論」の履修登録が取り消されます。

★授業概要等はwebシラバスに、試験時間割は各学部の学修ガイドに掲載されています。

(11) 介護等体験について(『教職課程履修の手引』P.28~30参照)

中学校教諭の免許状を取得する場合は、3年次に介護等体験を実施してください。

2年次の12月に開催される説明会に出席し、体験の申込みをしてください。

(12) 教育実習・養護実習について(『教職課程履修の手引』P.25~27、養護はP.27~28参照)

「教育実習」・「養護実習」(4年次必修)には、履修条件があります。

「教職概論」「教育の原理・課程論」「教育心理学」及び「教科教育法」(養護は「養護概説」)

は3年次までに単位を修得してください。

(12) 教職課程に関する連絡等について

教職課程に関する連絡は、掲示板(中央掲示板・教職課程教育センター事務室前掲示板)や、FUポータルで行います。

必ず確認するようにしてください。